

[16]







門からはいる者は、羊の羊飼である。羊は彼の声を聞く。そして彼は自分の羊の名を呼んで連れ出す。自分の羊をみな出してしまうと、彼は羊の先頭に立っていく。羊はその声を知っているので、彼について行くのである。御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いてくださるであろう。 黙示 7:17